

令和5年度 放課後等デイサービス自己評価結果（まいまい1・2・3）

*いつもまいまいをご支援頂き、ありがとうございます。まいまいではより良い放課後等デイサービスの活動を目指し、各職員で自己評価を行い、その結果を検討しました。ここに公表いたします。（評価表は厚労省の放課後等デイサービスガイドラインに掲載されているものを使用しました。）ご意見などがありましたらお寄せください。

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 個人の評価、意見 | まいまいとしての対応と改善点 |
|-------------|---|---|----|---------------|-----|--|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 9 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別課題や製作を行うグループ、外出するグループなどに分けているので、全員が常に室内にいる訳ではない。 ・利用人数が多いと、狭いと感じる時がある。 | 雨の日など外出ができない日や利用人数が多い日は、狭いと感じる事もありますが、まいまい1.2.3共に、指導室と学習室があり、それぞれの指導に合った部屋で活動をしています。また動と静のメリハリを付けた内容を組み合わせています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 3 | 7 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・送迎で足りないと感じる時がある。 ・利用人数が多い時など、日によってもう1人いればと思う時がある。 ・急な児童の欠席などがある時は、職員が多いと感じる時がある。 | 基準以上の職員で対応しています。保育士や児童指導員などの資格を持った職員も多く、男女比や年齢のバランスにも気を付けて配置しています。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 7 | 3 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・まいまい1はトイレ等に段差がある箇所があるが、スロープや手すり、職員の付き添いで配慮出来ていると思う。 ・まいまい2は室内はトイレ以外は段差が無い夕方になると階段は暗いが、ライトを使用している。 ・まいまい3は、屋外の階段に手すりがあるが、玄関・トイレには手すりなどが無い。 | まいまい1の建物入口には段差がありますが、通行時は職員が見守りをしています。トイレ以外は段差の無いバリアフリーとなっていますが、トイレは構造上どうしても段差が出来てしまうので、両側に手すりを設置し、利用の際には職員が付き添って安全に配慮しています。まいまい2は、ビルの2階にあり階段があります。室内もトイレ洗面所以外はバリアフリーとなっていますが、洗面所に入る時には、段差があります。手洗い・トイレの際は職員が付き添う等、安全に配慮しています。また、階段は雨の日などは特に滑りやすいので、モップがけをすると共に声かけや見守りなどを行っています。また、帰りの送迎時など階段が暗い時は、LEDライトで足元を照らしています。まいまい3は玄関前に階段があります。雨の日などは滑りやすいので、声かけや見守りを行います。 ◎まいまい開業時から施設点検表を作成し、子どもたちが来る前に施設設備、遊具な |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 7 | 3 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・もう少し会社全体で組織としての目標設定や振り返りを行った方が良い。 | 今年度も「振り返りと今後に向けて」というシートを作成し、非常勤を含む全職員に振り返りと目標設定を実施します。その結果を業務に反映していきます。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 10 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価表の意見を踏まえ、業務に反映している。 | 今年度も厚労省の様式を用いたアンケート調査を実施し、職員で話し合いました。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 10 | 0 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・結果は書面で配布し、各事業所に掲示している。 ・ホームページにも掲載している。 | 評価結果は保護者の方に配布し、室内にも掲示をしています。ホームページにも掲載しているのでご覧ください。県のシステムでも公表します。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 0 | 0 | 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は実施していない。 | 第三者評価委員会には依頼していません。保護者、事業所の二者評価とさせて頂いております。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 9 | 1 | 0 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に比べると研修の機会は増えてきた。 ・非常勤職員にも機会を確保している。 | オンライン形式の研修が多いですが、コロナ禍に比べ、研修の案内も増え、参加する機会も増えてきました。非常勤職員にも周知し、研修機会を確保しています。 |

| | | | | | | | |
|----------|---------------------------------|--|----|---|---------------|--|--|
| 適切な支援の状況 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 10 | 0 | 0 | ・アセスメントを行い、職員で話し合い、共有し、計画を作成している。 | 一人ひとりの状況や課題を把握できる内容の様式にし、それをもとに個別課題支援計画を作成しています。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 1 | 7 | 2 | ・アセスメントツールはあるが、活用出来ていない。 | 言語聴覚士による発達や言語などの評価をもとに職員の話し合いで対応を考えています。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 10 | 0 | 0 | ・帰りの会や製作、外出先などは、会議の時間を使って話し合いの上、立案している。 | 子どもたちの状況を踏まえつつ、活動内容の立案を職員会議で決定しています。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 10 | 0 | 0 | ・帰りの会は週替わりで行っている。 ・帰りの会など以前と同じプログラムでも、内容を変えて行っている。 ・皆で話し合っ活動プログラムを考えている。 | 言語聴覚士の助言指導なども取り入れ職員で考えながら取り組んでいます。帰りの会のプログラムも一週間通して行う事で、理解や習熟も進んでいきます。製作は季節感も味わえるよう工夫をしています。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 9 | 1 | 0 | ・宿題がある子は宿題が優先になり、設定していた課題が出来ない時がある。 | 平日は平日のプログラムがあります。土曜日、長期休暇の時には一人ひとりの興味関心や課題に基づき、事前に計画を立て、様々なプログラムを実施しています。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 10 | 0 | 0 | ・半年ごとのモニタリングで保護者と面談。児童の状況を踏まえ、作成している。 ・個別の時間には各々の課題を行い、集団活動と組み合わせている。 | 課題や作業などの個別で活動する時間と、集団で活動する時間があります。集団活動の中でも、順番を待ったり、他の子の活動を見守る事で集団参加に繋がります。職員もそういう事を意識して取り組んでいます。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 8 | 2 | 0 | ・学校送迎の都合や、非常勤職員は、打ち合わせが出来ない事もある。 ・定例会を行うと良い。 | 朝の打ち合わせでは、利用児童の確認、送迎スケジュール、個別内容、その他支援内容、役割、申し送り事項などを話し合っています。午後からは非常勤職員も含めて話し合いを実施しています。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 4 | 6 | 0 | ・非常勤職員は別日になってしまう。 ・その日に出来ない時は翌日に行っている。 | 送迎時を含めたその日の児童の状況を話し合い、支援内容の反省を行っています。それを日誌等に記録すると共に翌日への申し送り事項とし、対応しています。非常勤職員は終業時刻がそれぞれ違うので反省などを聞き取る他、メモ等で報告してもらっています。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 10 | 0 | 0 | ・その日のうちに記録を取れていない時がある。 | 児童の状況は個別の記録、日誌、送迎表に記録しています。全体での状況や電話、面談、反省、改善点、申し送り事項も日誌に記録しています。また、電話連絡等をして情報を共有しています。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 10 | 0 | 0 | ・6か月に1度、面談を実施している。 ・保護者の方との面談を基に、見直している。 | 半年ごとの面談において、モニタリングを行い、見直しています。 |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | 10 | 0 | 0 | ・組み合わせて行っている。 | ガイドラインの総則では基本活動に示された4つの活動を組み合わせ支援を行うことが求められています。まいまいでは、それらを組み合わせた活動を行っています。 | |
| 関係機関や保 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 10 | 0 | 0 | ・事前に職員会議で子どもの状況確認をしている。 | 職員全体の意見も聞き、担当職員が参加しています。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 9 | 1 | 0 | ・引き渡しの際、担任の先生でない場合があり、連絡事項が伝わらない事がある。 | 学校のホームページを確認したり、学校からの配布文書を保護者の方を通して頂いたりして確認しています。送迎についての学校主催の会議などには必ず参加しています。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 4 | | | ・まいまい1のみ受け入れている。 | まいまい2・まいまい3では該当する児童の受け入れはしていません。 まいまい1では、緊急時の対応方法や医療機関の連絡先などが記載された主治医意見書を保護者の方を通じて頂いています。 |

| | | | | | | | |
|-----------------------|----|---|----|---|---|---|---|
| 護者との連携・連携関係機関や保護者との連携 | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 4 | | | ・まいまい1では、就学前に利用していた保育所や幼稚園などに行き、情報共有を行っている。 | まいまい2・まいまい3では、該当の情報共有などは行っておりません。 まいまい1では、相談支援事業所を介して行う他、直接保育所等に向き、子どもの様子を見学し、情報共有を行っています。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 1 | 9 | 0 | ・相談支援専門員を介して、連携している。 ・依頼があれば行っている。 | 保護者の方が福祉サービス事業所に伝えたり、要請があれば、情報提供を行っています。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 10 | 0 | 0 | ・研修機会が増えてきたので、参加している。 | オンラインでの研修なども含め、常勤職員も非常勤職員も出来るだけ参加しています。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 0 | 6 | 4 | ・児童センターのイベントに参加した。 ・障害のない子どもとの活動機会は作っていない。 | まいまい2は、児童センターのイベントに参加をしました。今後も状況を見て、機会を作っていきたいと思います。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 10 | 0 | 0 | ・市に任命された職員が参加している。 | 朝霞市の精神と子どもの専門部会に任命された職員が参加しています。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 10 | 0 | 0 | ・変わった事があれば、その都度電話等で連絡している。 ・送迎時、連絡帳、LINE等で伝えている。 | 連絡帳や送迎時、電話、LINE、面談時に伝えています。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 10 | 0 | 0 | ・ペアレントトレーニングの研修に行った者が複数いるので面談などでアドバイスしている。 | ペアレントトレーニング指導者養成研修修了者がいるので面談等の助言に活かしています。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 10 | 0 | 0 | ・契約時または必要に応じて行っている。 ・年度ごとに利用マニュアルを配布している。 | 契約時や面談等で説明を行うとともに、利用案内、利用者負担等の文書でも伝えています。支援の内容については、今週の活動を配布し、まいまいの活動の狙いや状況を伝えています。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 10 | 0 | 0 | ・面談、連絡帳、電話等で行っている。 | 連絡帳や送迎時、電話、面談等で随時、対応しています。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 9 | 1 | 0 | ・保護者会の開催が出来た。 | 今年度は2日に分けて、卒業生の保護者の講演会・保護者会を開催する事が出来ました。今後の状況を見て、保護者参観や親子レクリエーションなども開催して、連携の支援を行っていききたいと思います。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 10 | 0 | 0 | ・苦情に関する対応体制は契約時に伝えている。 | 苦情受付者、解決責任者を選任し、文書でお知らせしています。問い合わせや苦情等を受けた時には、すぐに状況を把握し、文書、電話、面談等で対応できる体制を整えています。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 10 | 0 | 0 | ・まいまいだより、今週の活動、行事案内の他、ホームページ上にて、行事や製作活動等の紹介をしている。 | 週の活動を紹介する『今週の活動』の他、『まいまいだより』などで、行事や製作活動等の紹介をしています。また年度当初には、利用マニュアルを配布しています。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 10 | 0 | 0 | ・施設できる書庫での管理やシュレッダー処理が徹底している。 | 個人情報ば2重3重に鍵をかけた書庫に保管しています。またそれが、外部に出る事が無いよう、全職員と契約書類を交わしています。今後も十分に配慮していきます。気になる点はお知らせください。 |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|----|---|---|--|--|
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 10 | 0 | 0 | ・言葉だけではなく、サイン・写真・絵カードなどでコミュニケーションを取る様になっている。 | 子どもや保護者の方の状況に応じて視覚的な情報伝達方法などを使用したり、配慮しています。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 0 | 1 | 9 | ・地域の方を招待する行事は行っていない。 | 地域住民を招待するなどの行事は行っていません。今後の状況をみて、地域清掃や地域のお祭りやイベントなどに参加していきます。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 10 | 0 | 0 | ・各マニュアルは策定してある。 | 年度初めにマニュアルを配布していますので確認してください。各マニュアルについては、室内に手順を掲示したり、職員研修も行っています。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 10 | 0 | 0 | ・学期ごとに実施できている。 | 連絡帳やおたよりを通して、内容等についてもお知らせしていますので確認してください。今後も学期に1回、様々な災害を想定し、実施していきます。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 10 | 0 | 0 | ・研修は実施しているが、非常勤職員に十分に行っていない。 | 計画を立てて、事業所内、県の研修に参加しています。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | | ・該当する子どもがいない。 | 現在、送迎時に安全確保の補助ベルトを使用する等、やむを得ない身体拘束に該当する児童はいません。パニック時の対応方法（フールディングや安定する場所に行くなど）については、保護者の方と相談して決めていきます。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 8 | 2 | 0 | ・保護者経由で、指示を仰いでいる。 ・アレルギー対応表を掲示し、周知して | 医師からの指示を保護者の方を通して情報を頂き、対応しています。アレルギー表を作成、掲示し、アレルギーのある子どもが利用する日は他の子にもアレルギー物質を含んだおやつは提供しないようにしています。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 8 | 2 | 0 | ・ヒヤリハットは、もっと細かい事を書いても良いと思う。 | ヒヤリハット事例やケガなどの事故事例が発生してしまった時には会議を開催し、対応や改善策を協議すると共に、報告書を作成し、職員に回覧し、周知しています。今後も行います。 |

※ 配布数 10 回収数 10 (回収率 100%)